

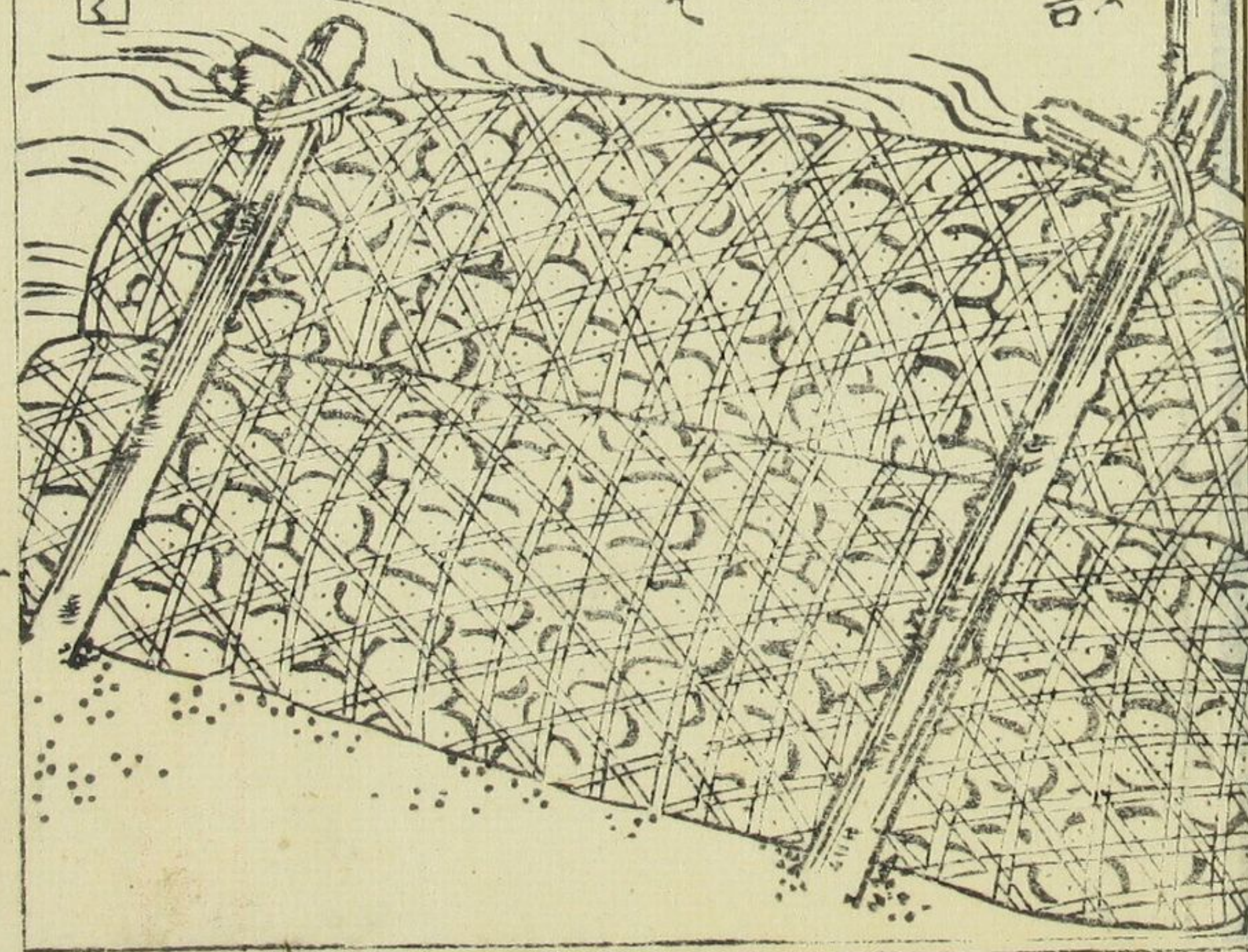


9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9



四^し条^{じょう}河^が原^{はら}に積^つ塔^た會^{かい}と言^い
 吏^しあり這^こへ人^に王^{わう}五^ご十^{じゅう}八^{はち}代^{だい}
 光^{こう}孝^{こう}帝^{てい}の姫^{ひめ}宮^{みや}兩^{りょう}夜^やの
 内^{うち}親^{しん}王^{わう}の報^{ほう}恩^{おん}とて盲^{もう}人^{にん}
 會^{かい}して石^{いし}と積^つ平^{へい}家^けを語^{かた}て
 遠^{えん}忌^きを吊^たりり夫^おは肉^{にく}
 ころのあつふあつねど
 此^{この}卷^{まき}中^{ちゆう}の座^ざ頭^{とう}とら
 親^{おん}王^{わう}るらぬ菊^{きく}王^{わう}の
 りつ日^ひ盲^{もう}と奈^な良^らの京^{きやう}
 吉^{きち}野^の内^{うち}裏^らの 受^う丁^{てい}あぐつ

室町十八



胡蝶の

まき



まき



ひらき文庫

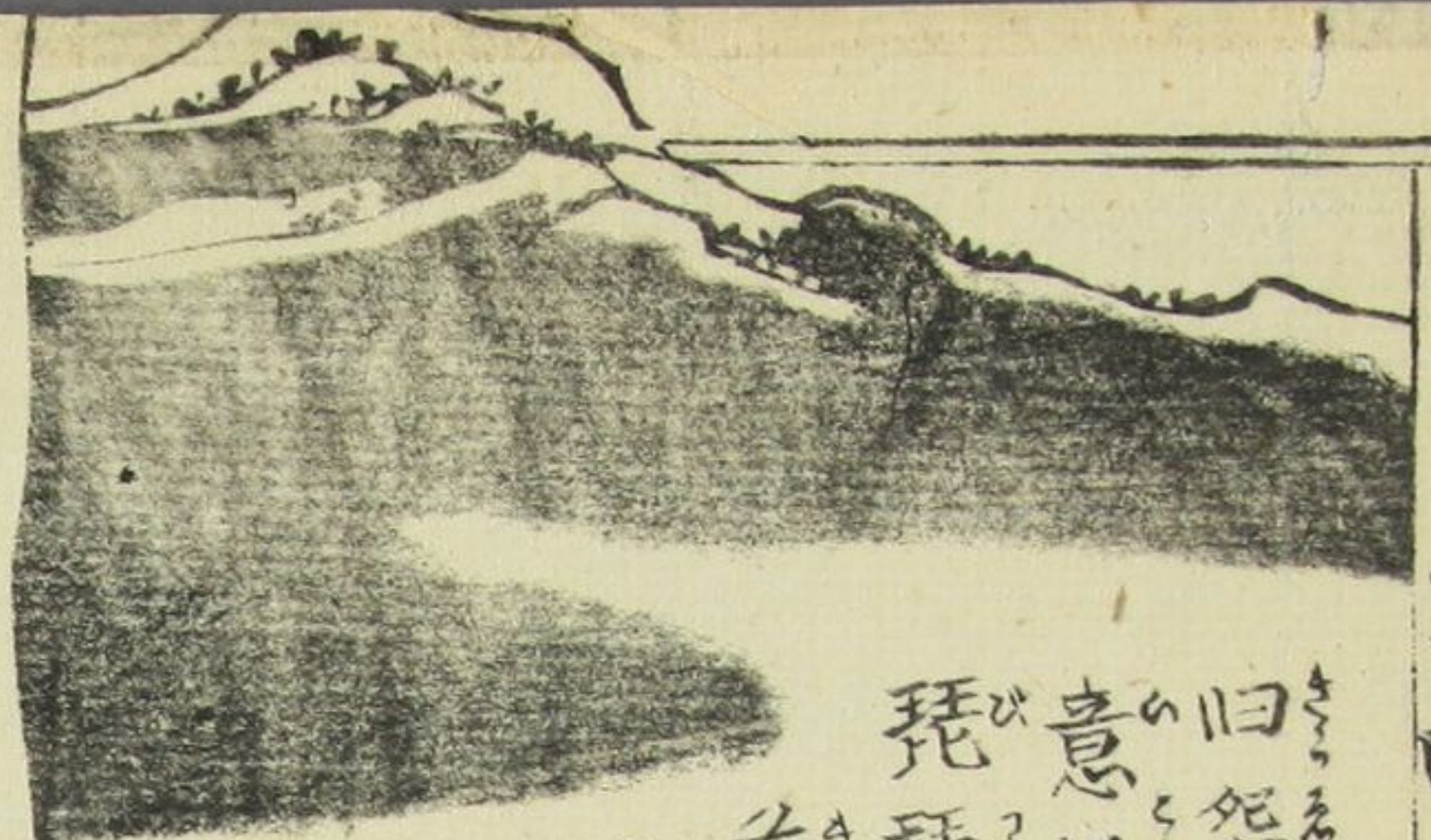


菊王丸

胡蝶



武者五郎



胡蝶卷

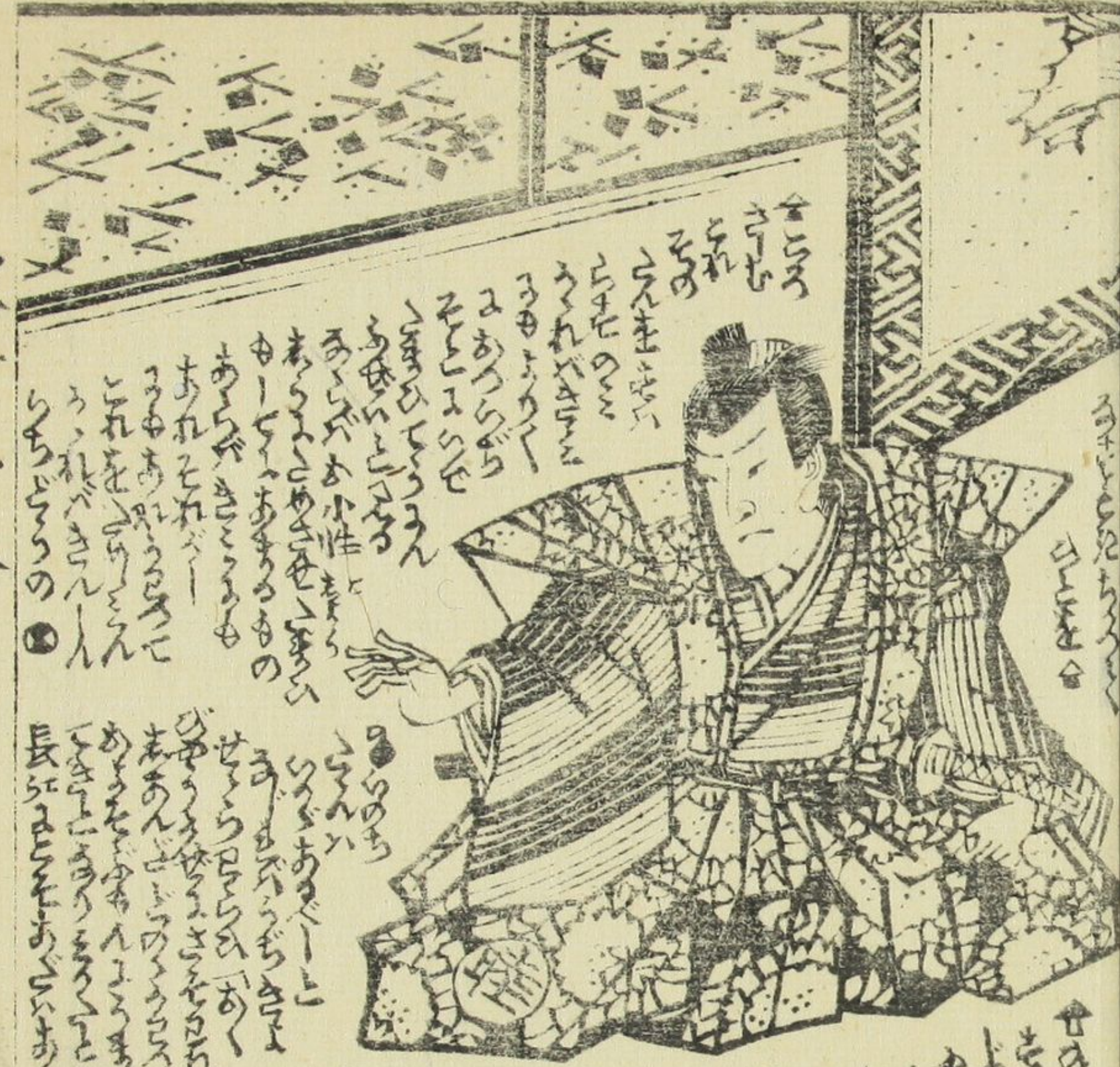
柳亭
種彦記

曰怨と父が寂期の鬱憤と心より積る
 意根の敷く晴まよ難き強病を
 琵琶諸共の歎せし加茂の河原の
 危難が僥倖悪血散して昼日を
 再度拜するの條を此巻よ
 一由解づる一を紙買よ
 限りあるを以て口画よ
 出して後編よ由さるぬ

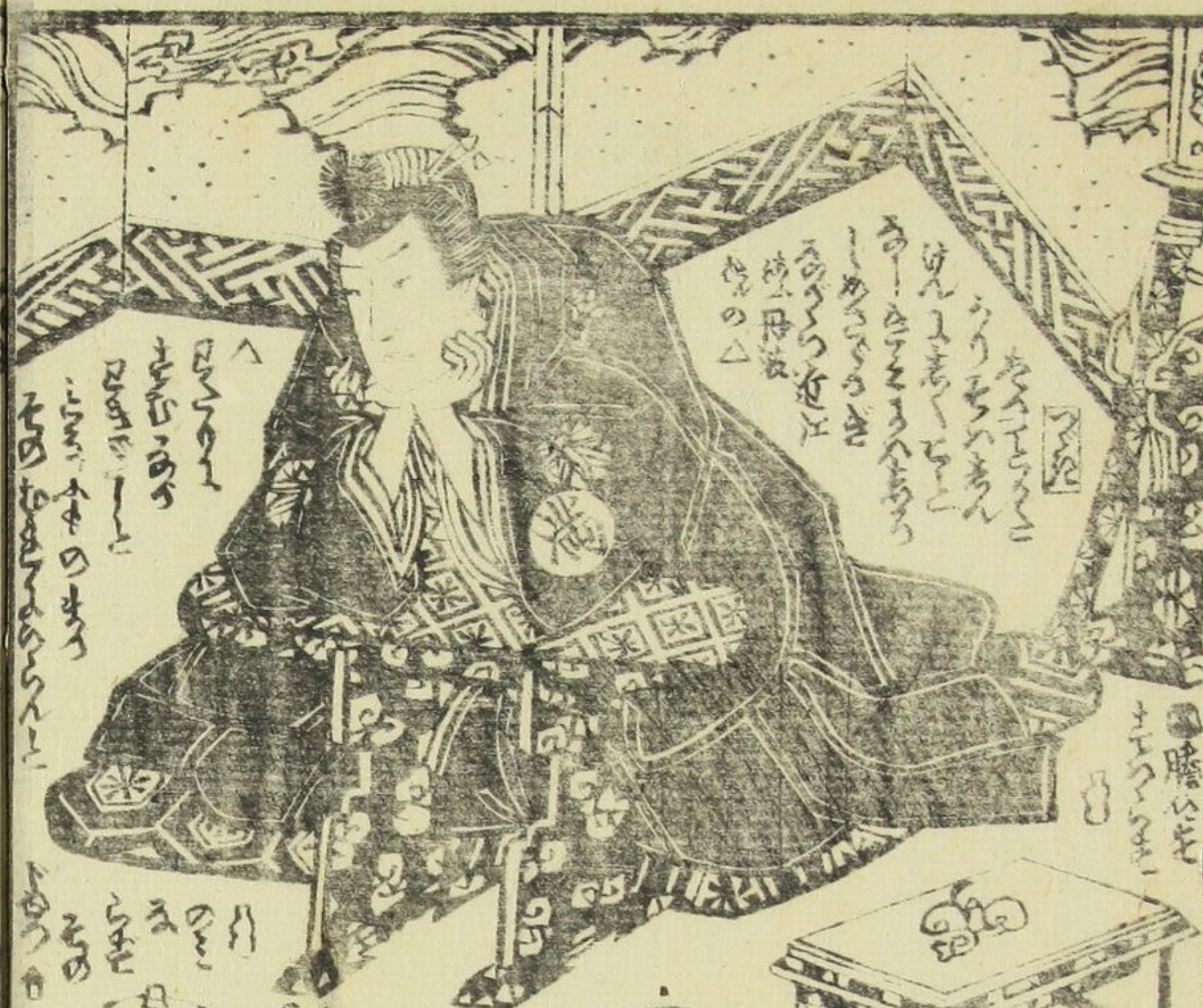


とせいのそのを三





長江は... 若...



種彦作 國貞画



この日のおくまを
かきくひしうづら
おれはなままて
日のおくまを
よもつあまを
さうよけらみ
おれはなままて
酒氣地あるも
まごもひなんま
まごもひなんま
まごもひなんま
まごもひなんま

おのちいでもるさう
この日のおくまを
おれはなままて
日のおくまを
よもつあまを
さうよけらみ
おれはなままて
酒氣地あるも
まごもひなんま
まごもひなんま
まごもひなんま
まごもひなんま

おれはなままて
日のおくまを
よもつあまを
さうよけらみ
おれはなままて
酒氣地あるも
まごもひなんま
まごもひなんま
まごもひなんま
まごもひなんま

柳蔭月朝妻

十編
大尾

山々亭有人作
權朝權國貞画

藪黄鷄八幡不知

十編
大尾

山々亭有人作
錦朝權芳清画

阿玉ヶ池梯月形

五編
大尾

鳥永春水作
權堂國要画

八犬傳犬の最紙

六十柳亭作
大尾國政画

小學行儀法

全一冊

寶母散

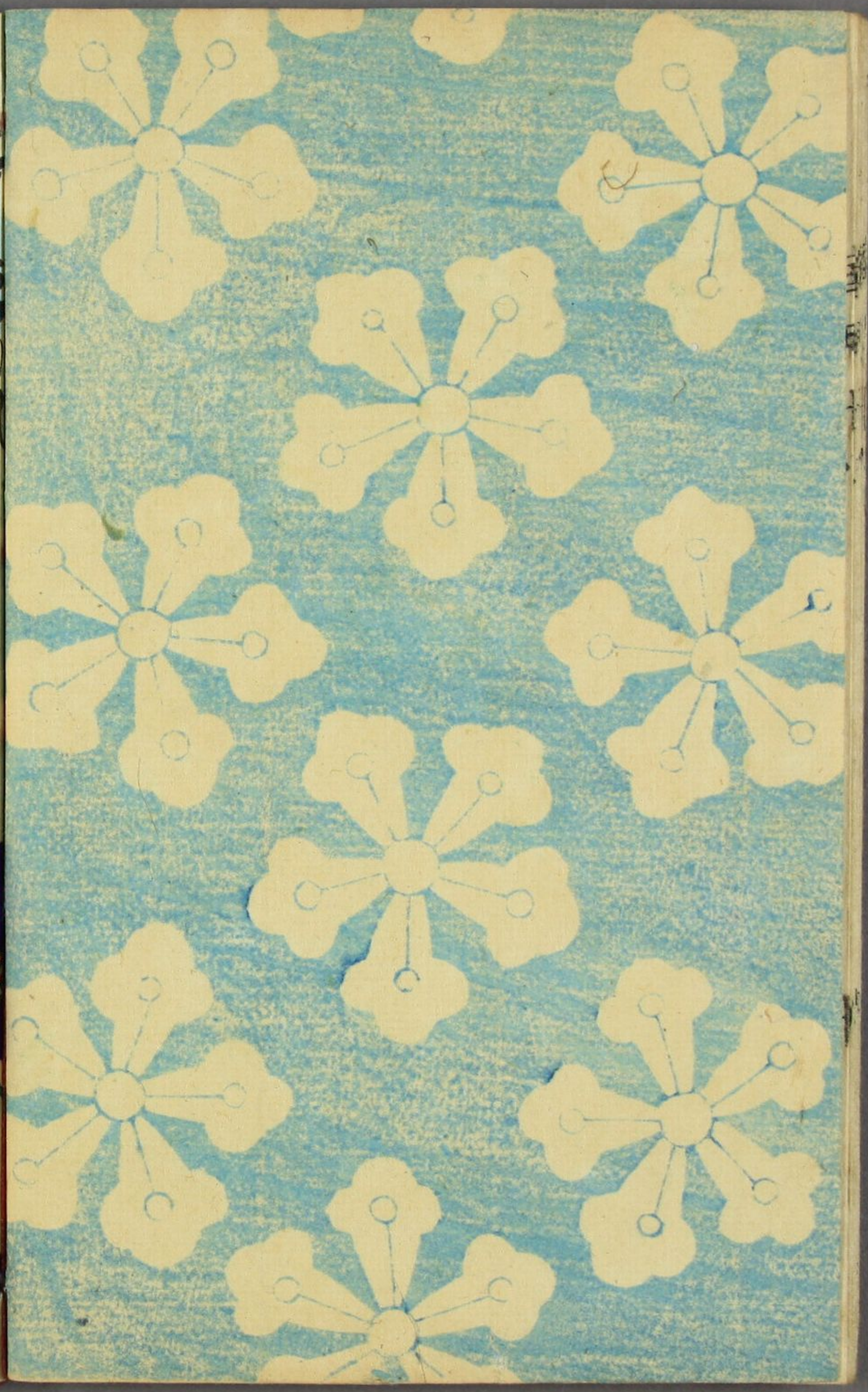
一冊
中橋南園馬町東田
千葉堂藥肆製

千葉堂藥肆製



松原楼画

十八番下

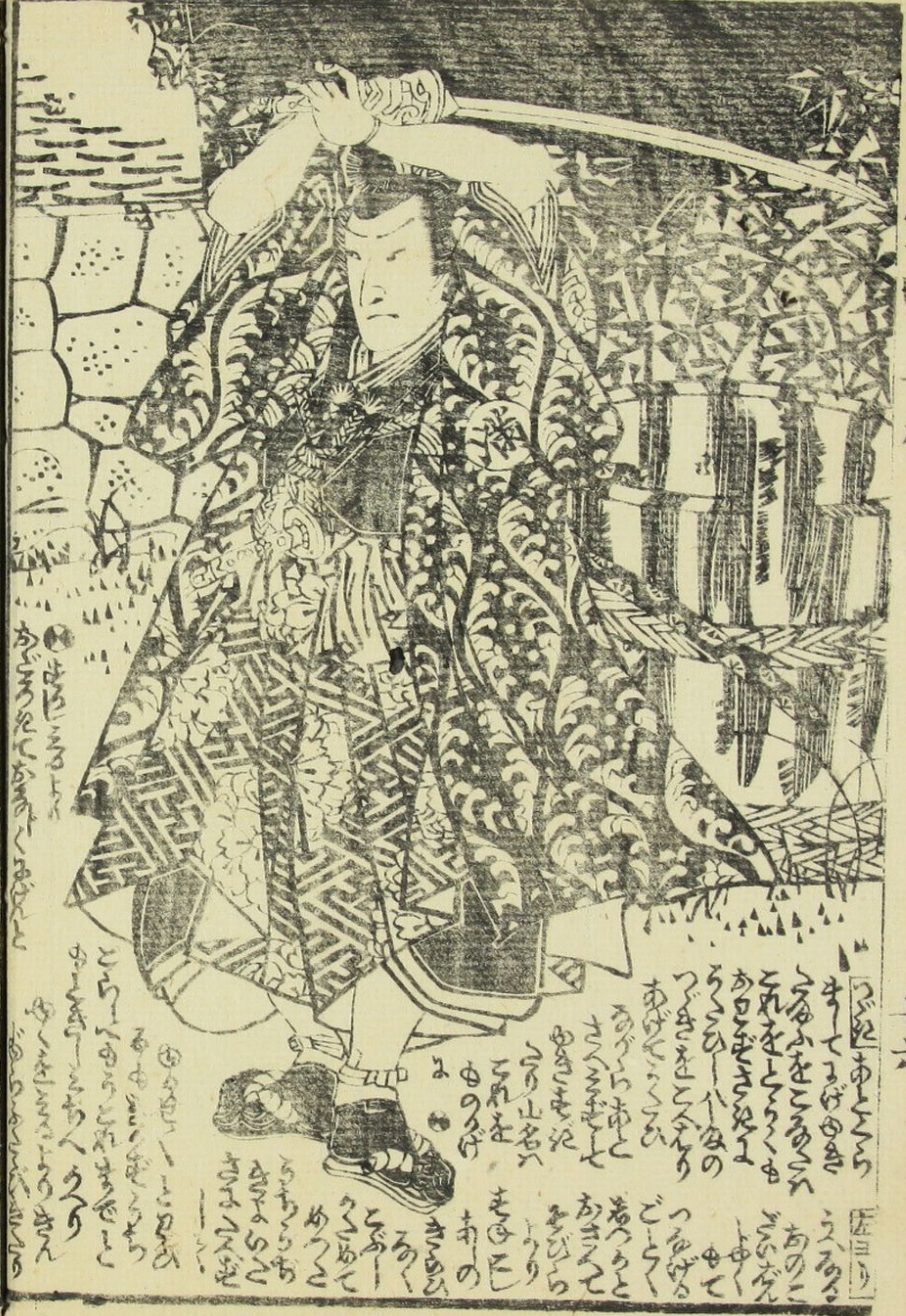




今、いふれが工場の
 ちりやうちをらんがう
 へんをせりつうちうひく
 りてゆまののりさうら
 きりたりらあひあひ
 つりてそのおんまを
 られちゆあまを
 せりあひあひ
 らあまを右

今、いふれが工場の
 ちりやうちをらんがう
 へんをせりつうちうひく
 りてゆまののりさうら
 きりたりらあひあひ
 つりてそのおんまを
 られちゆあまを
 せりあひあひ
 らあまを右

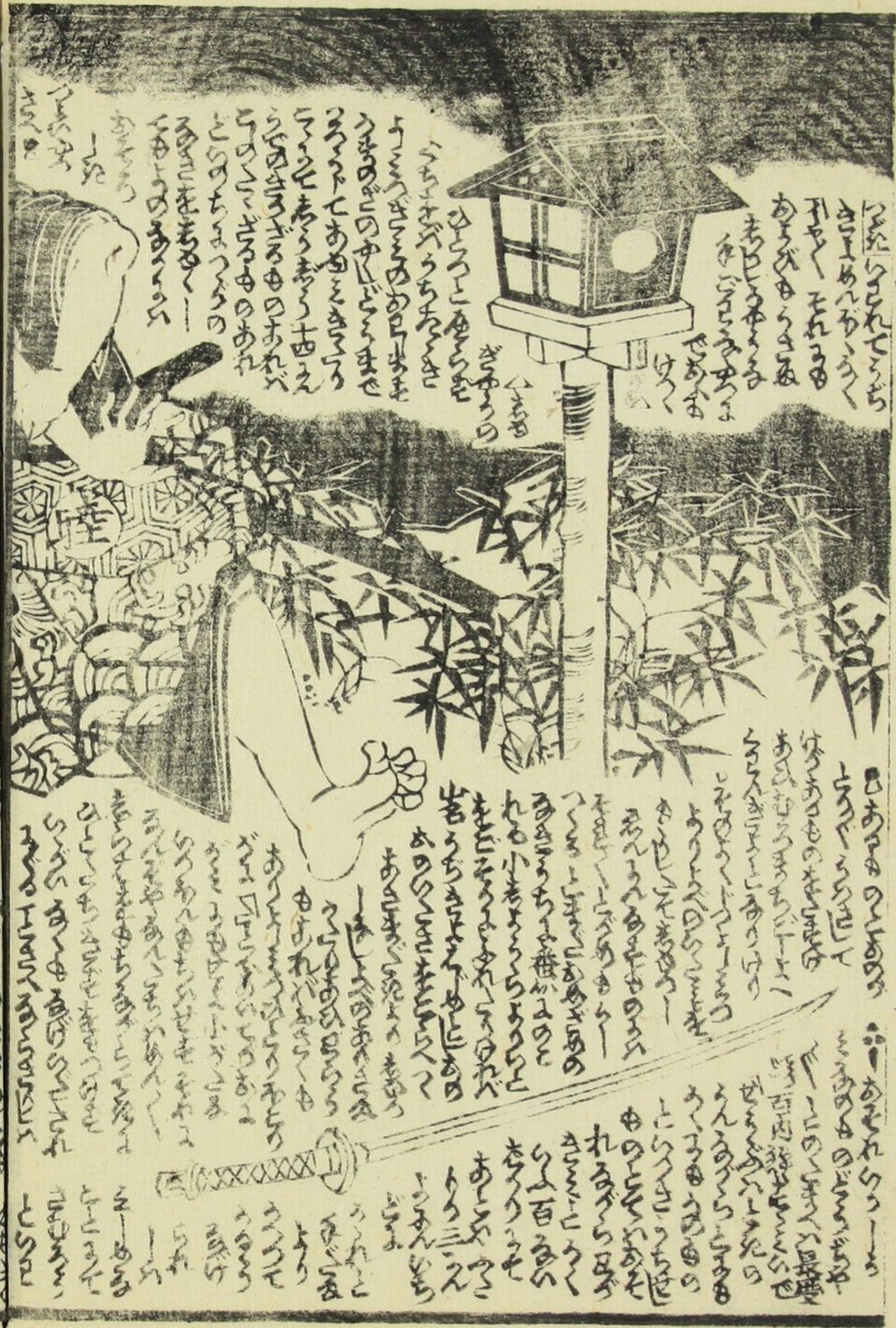
今、いふれが工場の
 ちりやうちをらんがう
 へんをせりつうちうひく
 りてゆまののりさうら
 きりたりらあひあひ
 つりてそのおんまを
 られちゆあまを
 せりあひあひ
 らあまを右



今、いふれが工場の
 ちりやうちをらんがう
 へんをせりつうちうひく
 りてゆまののりさうら
 きりたりらあひあひ
 つりてそのおんまを
 られちゆあまを
 せりあひあひ
 らあまを右

今、いふれが工場の
 ちりやうちをらんがう
 へんをせりつうちうひく
 りてゆまののりさうら
 きりたりらあひあひ
 つりてそのおんまを
 られちゆあまを
 せりあひあひ
 らあまを右

今、いふれが工場の
 ちりやうちをらんがう
 へんをせりつうちうひく
 りてゆまののりさうら
 きりたりらあひあひ
 つりてそのおんまを
 られちゆあまを
 せりあひあひ
 らあまを右



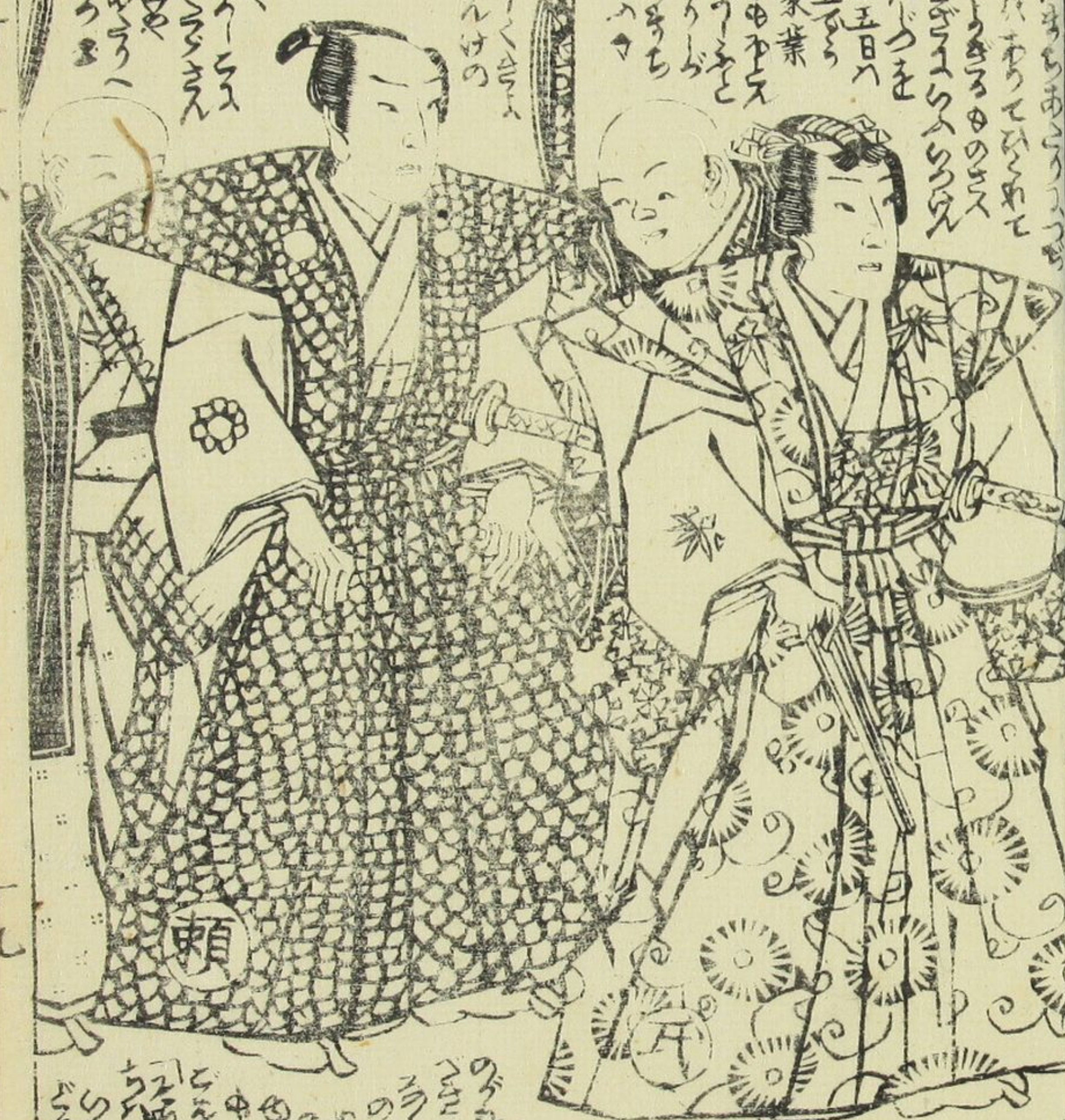
Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, likely a preface or introductory text.



Handwritten text in vertical columns located between the two illustrations on the right page.

Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, possibly a concluding text or commentary.

Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a preface or introductory text.



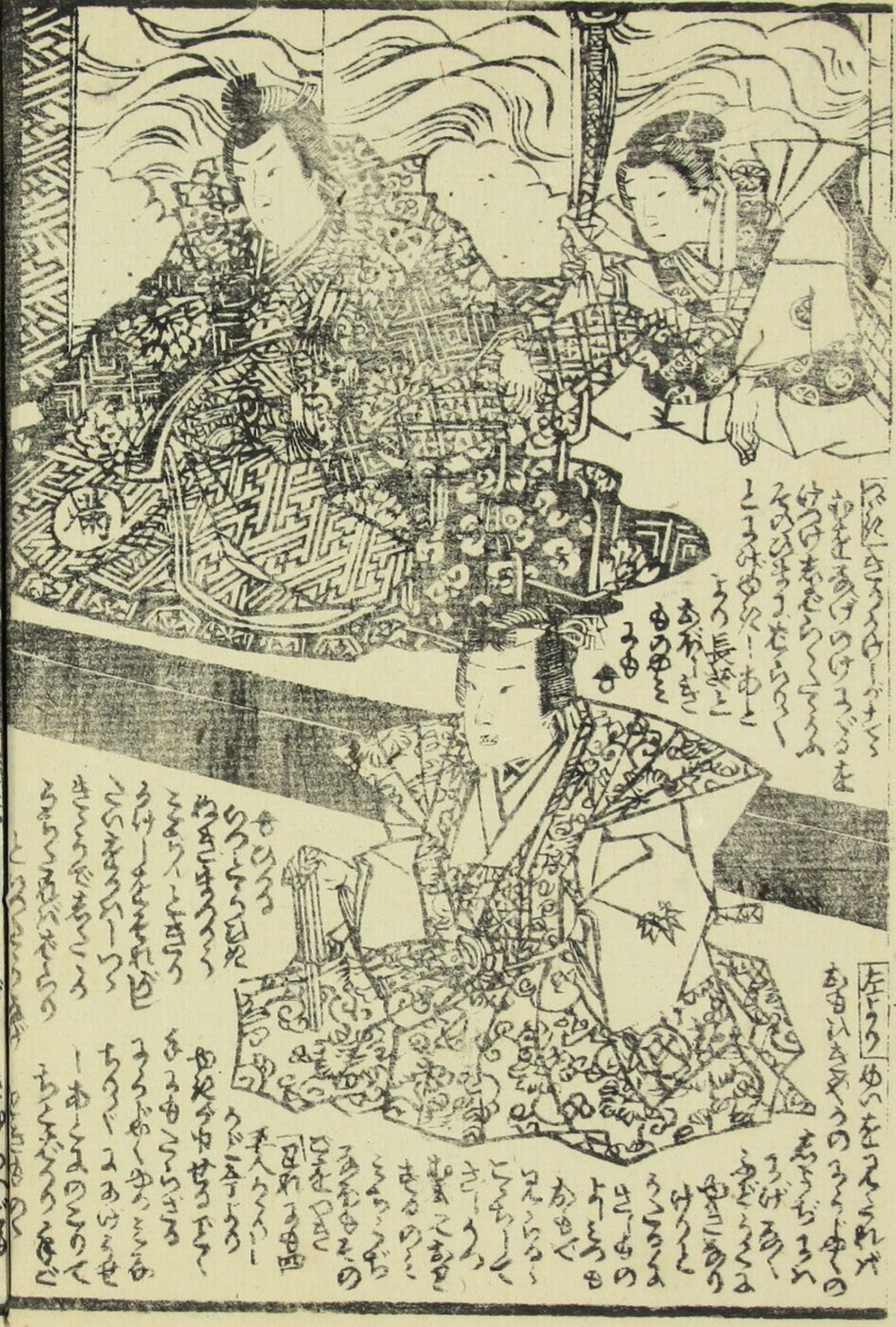
Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, possibly a concluding text or commentary.



くろ
まろ
つ
し
せ

世
く
ま
つ
し
せ

く
ま
つ
し
せ



く
ま
つ
し
せ

く
ま
つ
し
せ

種彦作國貞画



地本綿繪團扇問屋

厚化粧萬年嶋田
十編種彦作
 大尾國貞画

室所源氏胡蝶卷
十編種彦作
 大尾國貞画

鼠祠通夜譚
十編種彦作
 大尾國貞画

童謡妙々車
十編種彦作
 大尾國貞画

薄倂幻日記
三十編春水作
 大尾國貞画

新島九尾傳
十編種彦作
 大尾國貞画

筆海四國問書
十五編種彦作
 大尾國貞画

明鴉墨画燭籠襦
十編種彦作
 大尾國貞画

花封蒼玉章
十編種彦作
 大尾國貞画

七女出葛飾譚
十五種彦作
 大尾國貞画

京橋區南馬場町壹丁目二番地
 出板人 **林吉藏**



種善他國異色

畫師小原
氏傑
卷之六
十八



小森壽分女

